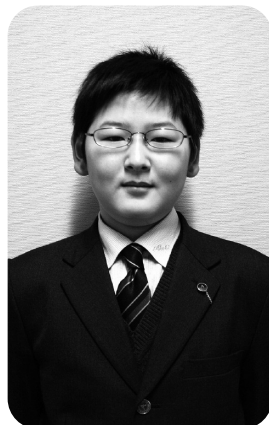




特集 明日の登別、明日の私

明日への一歩

前田大智さん
(登別明日中等教育学校1回生)



僕は、4月に北海道登別明日中等教育学校に入学しました。苦小牧から通学する僕にとって、まず大変だったことは、毎朝早く起きなければならぬことです。僕は、毎朝五時半に起床し、電車で通学しています。『明日』は、勉強も大変です。土曜講習があったり、週に何回もテストがあったりします。学習内容も、とても高度なことを学習します。しかし、『明日』の先生方は、いろいろなことを知っていて、授業も分かりやすく楽しいです。友達も何か一つのことに対して、とても深い知識を持っているので、話すとても楽しいです。

『明日』は中高一貫校のため、文化祭や体育祭、部活動などで高校生の先輩達と交流する機会がたくさんあります。先輩たちは頼りになって親切で、明るく尊敬できる人たちです。僕は、『明日』に入学してたく

さんの人に出会い、いろいろな生き方があることを知り、視野が広がりました。『明日』を選んで最初は不安でしたが、一歩を踏み出してみて、本当に良かったと思います。

今年は新入生も入り、僕も先輩になります。僕は今まで出会った人々はもちろん、新しく出会う人々との交流を、さらに深めていきたいと思っています。

心の輪 もっと広く

道林詩織さん
(登別明日中等教育学校1回生)



わたしの住んでいる登別市には、『地域パトロール』という取り組みがあります。『地域パトロール』とは、地域の人たちが、地域の安全を守るために、巡回などを行っている活動です。

わたしも、夜不安な時、『地域安全巡回中』の車を見掛けると、とても安心できて、心が温かくなります。登校中に、『学校、気を付けて行つてね』などと温かい言葉を掛けてくださったこともあります。地域パト

ロールの方たちは、わたしだけでなく、たくさんの人に心の温もりを伝えてくださっているのですね。

地域のことを思いながら活動されている地域パトロールの方々を、わたしはとても尊敬し、感謝しています。

地域は単なる人の『住みか』ではなく、住人が互いに支え合い、誰もが住みやすい場所としていくものだと思います。地域パトロールの方々は、わたしの暮らす登別に、温かい『心の輪』を広げていらつしやるのです。わたしは今年も、『もっともつとこの『心の輪』が、広がっていくといいな』と思います。

挨拶をしつかりと

秋山基希さん
(日本工学院北海道専門学校2年)



明けましておめでとうございます。昨年を振り返ってみると、昨年は目標の半分しか達成できませんでした。

昨年の目標は『公務員試験合格』と『一年間健康でいる』の2つの目

標でした。この目標の中の『公務員試験合格』はこの登別市役所の内定をとることができ、最高の結果を残すことができました。

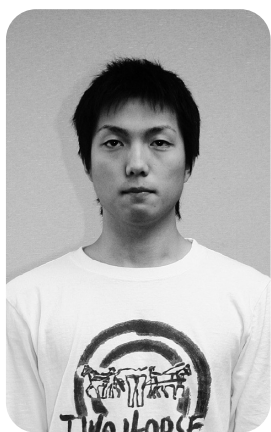
しかし、もう片方の目標であった『一年間健康でいる』は、秋に一度風邪を引いてしまい目標達成には至りませんでした。

この達成できなかった目標は今年も続け、もう一つ新しい目標をつくりたいと思います。2009年の目標は『あいさつをしつかりする』にしたいと思っています。今年は社会人一年目で仕事を覚えたりで大変だと思いますが、あいさつは自分でもできることだと思うので、今まで以上にしつかりとしていきたいです。

2009年は残り少ない学生生活を存分に楽しんで目標を達成できるように頑張っていきたいと思っています。

今度は、私が支えになります

森田元氣さん
(日本工学院北海道専門学校1年)



わたしは幼い頃から消防士に憧れ